

館林市立第四中学校 学校評価一覧表 ②

(様式2)

自己評価 A:80%以上 B:60%以上 C:40%以上 D:40%未満

評価対象	羅 針 盤		自己評価 (総合)	学校関係者評価	学校関係者評価委員の意見	今後に向けての学校の考え	
	評価項目	具体的数値項目					
I 保護者との連携 教頭・教務	1 保護者への情報提供	①「学校や子供の様子が分かる」と答えている保護者が80%以上	A	A	○ホーム&スクールなどを活用し、保護者との連携がよく図られている。	①②引き続き、ホームアンドスクールやWebページなどを活用した情報発信に力を入れ、開かれた学校づくりに努めていく。 ③④引き続き、各担任から労を惜しまず、欠席生徒や気になる生徒に対して電話連絡や家庭訪問などにより保護者と連携していく。	
		②連絡メールやたより、学校HPなどから必要な情報が得られている保護者が80%以上	A	A			
	2 保護者への対応・学校への信頼	③学校は、「相談しやすい」と感じる保護者が80%以上	A	A			
		④学校に安心して子どもを送り出すことができる保護者が90%以上	A	A			
II 確かな学力 学びの教育部	3 わかる授業づくり	⑤「意欲的に取り組んでいる」と答える生徒が80%以上	A	A	○授業中のタブレット活用をはじめ、オンライン授業、オンライン指導などのICT活用が進んでいる様子が見られた。それが学力向上につながっているのではないかと。○2年生の数学の授業で、生徒たちが積極的に手を挙げ発言していて楽しそうな授業風景に驚きました。先生の努力がうかがえます。 ○家庭学習ノートの活用を進めていってほしい。 ○家庭学習は方法は様々で、家庭学習ノートの他にも各自様々な学習をしているだろうと思う。それを含め励ましながら自主的な学習につなげていってほしい。 ○各学年、生徒は授業に集中しており、ICTの活用等、教師も工夫している様子が見られました。	⑤⑥引き続き、「学習指導要領」や「はばプラⅡ」で研修を推進し、指導力向上を図る。また、教師が「めあて」と「振り返り」の時間を設定し、意欲的かつ達成感を味わえる授業実践をしていく。 ⑦様々な場面で、保護者に対して家庭学習の大切さを伝えていく。(例：新入生説明会において、家庭学習の予習・復習の具体的例や目標とする学習時間を伝える。) ⑦引き続き、家庭学習におけるスタディサプリ活用を促していく。	
		⑥「授業が分かる」と答える生徒が80%以上	A	A			
	4 基礎的な知識・技能を定着させる授業づくり	⑦「自力で課題を解決できるようになった」と答えている生徒が80%以上	A	A			
	5 学習習慣の定着の工夫	⑧家庭学習に平日平均1時間以上取り組める生徒が80%以上	A	A			
	III 豊かな心 心の教育部	6 いじめのない温かい人間関係	⑨「学校は悩みやいじめの解消に努めている」と答えている生徒が80%以上	A			A
⑩学級が居心地がよいと感じている生徒が80%以上			A	A			
7 あいさつや時と場に応じた適切な言動をとることのできる生徒の育成		⑪進んであいさつをしたり、正しい返事ができる生徒が80%以上。	A	A	○生徒は進んであいさつしています。日頃の指導の成果だと思いました。 ○学校訪問すると、生徒さんが気持ちよいあいさつをしてくれます。先生方が共通理解のもとぶれない指導をされていることで校内が整然としていたと感じました。今後も生徒の自己肯定感を高める指導をお願いします。 ○来校者に対して自分からあいさつする姿が見られる。		
		8 規範意識に基づいて判断し行動できる生徒の育成	⑫学校のきまりや約束を守って生活している生徒が80%以上	A		A	○教師側が生徒の模範となり、積極的にあいさつをしていくことが大切だと思う。また、学校で指導していることを家庭にも伝え、学校と家庭が連携協力していくことが大切だと思います。
IV 進路・生き方	9 進路学習や指導態勢の充実	⑬学級活動における進路学習や総合的な学習の時間などの体験活動を通して自己の生き方を考えている生徒が80%以上	A	A	○職場体験を地域がサポートするなど学校の負担が軽減できるとよいと思います。 ○職場体験学習では、コロナ禍でも工夫しながら生き方に関わる行事を実践していて素晴らしいなと思いました。 ○生徒の進路が多様になる中、個々の生徒の進路選択が適切に行われるように、学校は情報提供している。 ○世の中にどのような仕事があるか子どもたちはよく分かっていないと思います。たくさん情報を提供する中で、やりたい仕事に就くにはどうしたらよいかなど具体的に示してあげることが重要かと思っています。そして、そのことが勉強に対するモチベーションや成績の向上につながると思います。 ○進路に関わる三者面談などの話し合う機会が適切に設けられ、保護者・生徒はいろいろな情報を提供してもらえていると思います。 ○進路学習は中学生にとってとても大事だと思うが、キャリア教育の視点で身に付けさせたい能力に目を向けた指導も意識して行い、その取組を保護者に発信していく。	⑬あらためて年間指導計画を点検・見直しし、計画的な進路学習が進められるようにしていく。 ⑬進路学習において、積極的に地域の方々を活用していく。	

					のほどだろうか？	
	10 将来の夢や希望を育むこと	⑭将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている生徒が <u>80%以上</u>	A	A	○保護者に対して、親子で将来のことを話し合う際のポイントを示していく必要がある。	⑭学年通信等で、保護者に対して生徒と将来について定期的に話し合う機会を設けるよう働きかける。その際、話し合うポイントを具体的に示していく。
V 健康・体力 体の教育部	11 基本的生活習慣の定着	⑮朝食をとっている生徒が <u>90%以上</u>	B	A	○睡眠を重視する指導をしていく必要がある。	⑮朝食を摂ることの大切さについて、保健だよりや学級懇談会、三者面談等とおして、全家庭に働きかける。 ⑯学校保健委員会や保健委員会などの活動を通して、睡眠時間や食生活の大切さについて生徒や保護者に投げかけていく。また、三者面談や便り等を利用し、啓発していく。
		⑯十分な睡眠時間を確保している生徒が <u>90%以上</u>	B	A		
	12 体力向上	⑰体を動かす工夫をするなど運動（部活動・体育の授業を含む）や地域のスポーツ活動などに取り組んでいる生徒が <u>80%以上</u>	A	A	○始業前に、生徒と教師が一体となって運動をしている姿が見られる。 ○コロナの影響がまだ残っているように感じます。仲間と共に体を動かす楽しさを感じられるように体育的行事や部活動等を工夫してできるとよいと思います。 ○運動する機会を増やせるといいと思います。	⑰保健体育年間指導計画の点検見直しを行う。また、朝トレなどの体を動かす機会を意図的に設定し、コロナ禍で低下した体力の改善を図っていく。
VI 安全確保	13 学校の安全対策	⑱「学校は安全である」と感じている生徒・保護者が <u>80%以上</u>	A	A	○校内環境はとてよく整備されていました。 ○老朽化に伴い整備の必要な所が増えているが、計画的に整備が進んでいるように見えます。	⑱月1回の安全点検では、年度末は複数で実施し、次年度前に改善や対策を行う。
	14 地域の安全対策	⑲安全に通学できるよう、交通ルールに気をつけて登下校できる生徒が <u>100%</u>	A	A	○通学・下校時の交通指導の徹底を図ってもらいたい。	⑲定期的に職員・PTAによる交通指導を実施していく。さらに、これまで実施してきた月1回の朝の交通立哨指導を見直し、よりよい方法を模索していく。
	15 感染症対策	⑳学校の感染症対策が適切に行われていると感じる生徒・保護者が <u>80%以上</u>	A	A		⑳引き続き、感染状況を見極めながら、指導と管理の両輪で感染症対策をしていく。
VII 組織運営 教頭	1 学校経営の協働参画システムの構築	①「組織の一員としての自覚をもって担当している校務分掌に意欲的に取り組み、職員の理解や協力が得られている」と答えている教職員が <u>80%以上</u>	A	A	○音楽祭を参観しましたが、各学年共に生徒が一生懸命に歌う姿が見られ、音楽主任を中心に全職員で教育活動に取り組んでいる成果と感じました。 ○コロナ禍でもできる限りの教育活動を実施していただいていることに感謝しています。 ○生徒に愛情を持った指導をお願いします。	①学校全体や学年内において職務内容の役割分担を明確にし、サポートし合いながら責任をもって遂行することを習慣化していく。 ②運営委員会を受けて職員会議では話し合う内容を焦点化して進める。また、職員会議や学年会では課題解決に向けた取組について意見交換したり、共通理解を図ったりしていく。 ③相談しやすい雰囲気をつくり、連絡・報告・相談を徹底する。 ④学年内にとらわれず、学校全体として物事を捉えたり、行動したりすることで、更に、協力体制を強化していく。
		②「職員会議や学年会議等が情報交換や課題検討の場として機能している」と答えている教職員が <u>80%以上</u>	A	A		
		③「教職員間の相互理解が十分なされ、信頼関係に基づいた教育活動を行っている」と答えている教職員が <u>80%以上</u>	A	A		
		④「日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に話し合える職場の人間関係ができています」と答えている教職員が <u>80%以上</u>	A	A		
		⑤「教室内外の環境整備に向けて努力している」と答えている教職員が <u>80%以上</u>	A	A		
		⑥「この職場は、教職員の服務規律確保への自覚が高い」と答えている教職員が <u>80%以上</u>	A	B		
	2 学習指導・生徒指導の推進	⑦生徒一人ひとりを大切に授業づくりや生徒との信頼関係づくりに努めている教職員が <u>100%</u>	A	A	○学力向上に向け、全職員で指導よろしくをお願いします。	⑦今後も、必要な資質向上研修を通して、指導力向上を図っていく。また、OJTやメンター体制を整備し、資質向上を図っていく。 ⑧一人一授業+αを通して、ある程度の成果を上げることができたと思うが、授業を見合う機会が少なかったため、改善策を考え、全職員の資質向上を図っていく。
		⑧「積極的に授業を見合い、互いに学び合うことによって自分の授業作りに生かしている」と答えている教職員が <u>80%以上</u>	A	A		
	3 公文書や個人情報等の情報の適切な管理	⑨「各種文書・データ等は、校務分掌や担当ごとに適切に管理されている」と答えている教職員の <u>80%以上</u>	A	A	○個人情報の取扱いについてよろしくをお願いします。	⑨個人情報の扱いについて、今後も継続して注意を促していく。また、服務規律チェックリストを活用し、職員各自の行動を振り返らせるとともに、必要に応じて、管理職から職員に対して個別に働きかけていく。
		⑩「個人情報が確実に保護され、管理が徹底されている」と答えている教職員が <u>80%以上</u>	A	A		
4 感染症対策	⑪「この職場は、教職員の感染症対策への自覚が高い」と答える教職員が <u>90%以上</u>	A	A	○冬場は換気はたいへんかと思いましたが、ウィンドブレーカー着用など工夫がなされていました。	⑪意識の差がある。「教職員」がとるべき言動について、学校として常に意識させていく。	